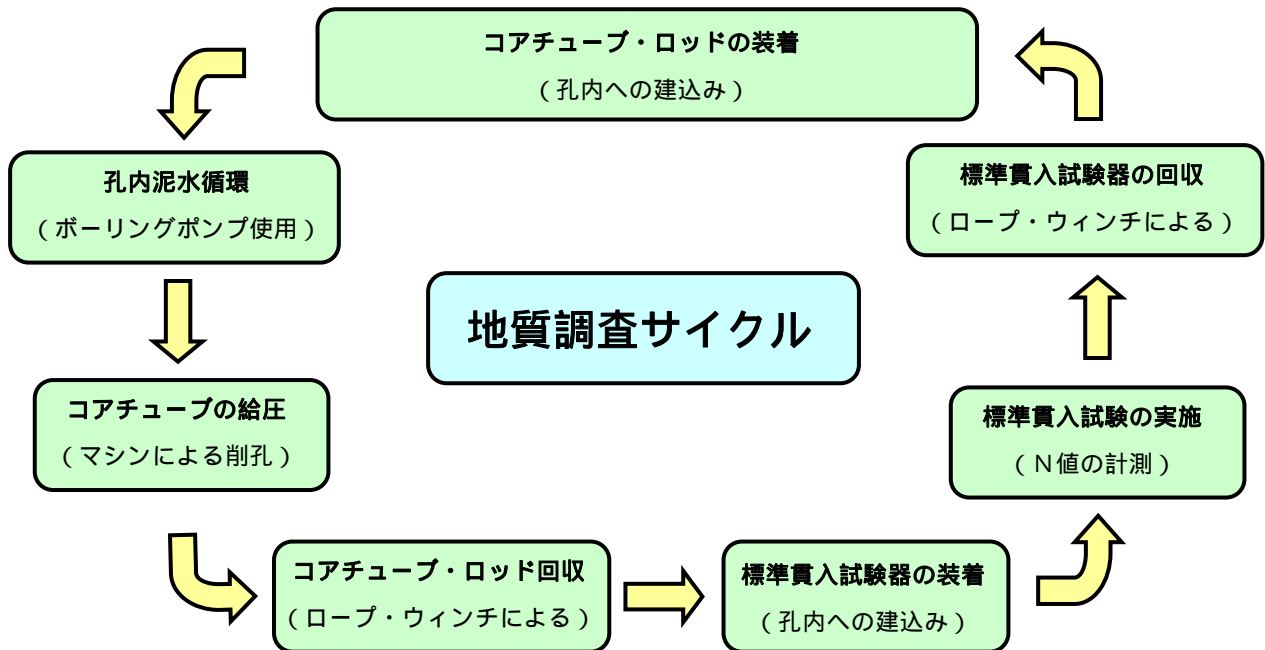


ボーリング（掘削・削孔）

地質調査のサイクル

ボーリングマシンを使用して一般的な地質調査を行う場合、以下に示すサイクルで行われる。

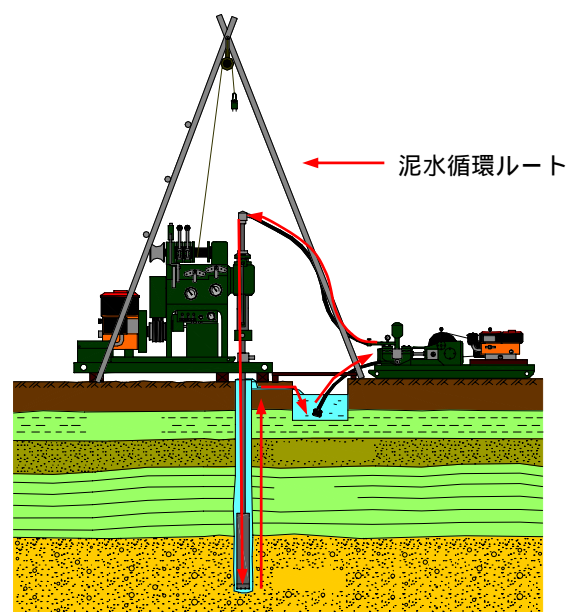


ボーリング概要

ボーリングマシンによる掘削・削孔の際、ベントナイト泥水を右図のように循環させ、孔壁を保持しながら同時にスライム（掘削土砂）を地上へ排出させる。この作業を効率的に行うことにより、地層構成をより正確に把握するためのボーリング孔が形成されるとともに、各種試験精度も飛躍的に向上する。

なお土質判定は、標準貫入試験試料の観察は無論のこと、泥水変化や削孔音、スライム状態などを注意深く観察することにより行われる。

ボーリングデータの中で重要な情報の一つである自然水位の確認は、原則として無水掘り（送水しないで掘削する手法）にて行う。



掘削・削孔概念図